教科目名　現代英語　Ⅰ　(Modern English I)

専攻名・学年　：　全専攻　２年　（教育プログラム　第４学年　　○科目）
単位数など　：　必修　２単位　（前期１コマ，学習保証時間 22.5 時間）
担当教員　：　大木正明

授業の概要

まず，アメリカ合衆国の主要都市でもあるロサンゼルスを舞台とした映画を通し，そこに使われている英語表現や現代的な言い回し，あるいはアメリカ人独特の物事の考え方を学んでいく．また，同時に西欧文化を理解するには欠かせない古典（ギリシャ神話）について学ぶために，現代的な表現が多く詰まった読み物を使用し，国際理解に必要な知識を養う．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(C2)，JABEE 目標(ｆ)**

(1) 国際人として通用するためには実践的な英語表現は必要不可欠である．文化的かつ物語的なテキストを完読することに加え，現代英語表現の宝庫ともいえる映画の中の日常表現を理解することによって，日常会話に必要不可欠な表現などをコミュニケーションという観点から理解し身に付ける．（定期試験）
(2) ギリシャ神話という西欧的な思考の骨子を学ぶことにより，より視野の広い，かつ深く物事を考えることができる能力を身につける．（レポート）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	*Pretty Woman* および Gaia と Uranus について *The Terminator* および Zeus と Hera について *The Mask* および Poseidon と Demeter について *Seven* および Hestia と Athene について *Rush Hour* および Hephaestus と Ares について *The Sting* および Aphrodite と Apollo について *Collateral* および Artemis と Hermes について	○講義の説明を簡単にするとともに，聖書とギリシャ神話についての概要を学ぶ ○公共的な正義について英語で学び，神話における人物を学ぶ． ○ペルソナ(心理学)について英語で学び，神話における人物を学ぶ． ○家族のあり方，罪について英語で学び，神話の人物について学ぶ． ○犯罪と信頼関係のあり方について英語で学び，神話における人物について学ぶ． ○機知について英語で学び，神話における人物について学ぶ． ○仕事と人生について英語で学び，神話における人物について学ぶ．	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	教科書に内容をしっかりと把握し，積極的に講義に取り組むこと。	【総合達成度】
教科書	大木正明著，『愛と正義の西海岸映画講義』，海鳥社，2007 年． ラルフ・マッカーシー編，『ギリシャ神話 Greek Myths』，講談社英語文庫，1996 年．	
参考図書	大木正明著，『元気の出るニューヨーク映画講義』，海鳥社、2006 年．	
事前準備学習	事前に教科書をしっかりと読んでおくこと．	
関連科目	英語，現代英語 II	
総合評価	定期試験(50%)，およびレポート(50%)により評価する．評価が 60 点以上を合格とする．	【総合評価】　　点